

# 日臨技認定センター お知らせコーナー！

認定指定講習会、認定試験など認定に関するお知らせコーナーです。詳細はホームページをご覧ください。

## ◇ 認定一般検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：中国地区臨床検査技師会  
日 時：平成 21 年 11 月 21 日(土)・22 日(日)  
会 場：鳥取大学医学部医学科講義室・実習室
- 2) 主 催：愛媛県臨床検査技師会  
日 時：平成 21 年 12 月 6 日(日)  
会 場：愛媛県立医療技術大学
- 3) 主 催：高知県臨床検査技師会  
日 時：平成 21 年 12 月 12 日(土)  
会 場：高知学園短期大学

## ◇ 認定心電検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：新潟県臨床検査技師会  
日 時：平成 21 年 12 月 6 日(日)  
会 場：新潟大学医学部

◆ 講習会は、更新対象者だけが対象ではありません。認定試験を受験される方…自己学習の方…興味のある方…等皆さんが対象です。多くの参加を歓迎します！



## 厚生労働省からのお知らせ

<http://www.e-anzen.net/>

事務連絡

平成21年10月16日

医療安全推進週間

各後援団体 医療安全関係担当者 様

厚生労働省医政局総務課  
医療安全推進室指導係長

### 医療安全推進週間(11月22日～28日)について

医療安全対策の推進につきましては、日頃から御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

「医療安全推進週間」の実施について、本年度においても「患者の安全を守るための共同行動(P.S.A)」の普及・啓発を図るための催しを企画しました。

当室では、この催しをきっかけに、医療従事者の意識の向上、医療機関等における組織的取組みだけでなく、患者・国民が、医療に関心を持っていただき、医療に関する情報を医療従事者と共有することで、積極的に医療に参加を促すことを目的に対象者の範囲を広げております。

当該期間中は、添付のポスターを貴施設の窓口等において掲示や配布をする他、様々な事業等の機会にご活用いただけるよう、ご協力方よろしくお願いたします。

## 平成 21 年度各地区学会の開催(開催順)

- ◆ 第 44 回九州医学検査学会  
日 程：平成 21 年 10 月 10 日(土)～11 日(日)  
会 場：アルカス SASEBO (長崎県佐世保市)
- ◆ 第 84 回北海道医学検査学会  
日 程：平成 21 年 10 月 17 日(土)～18 日(日)  
会 場：函館国際ホテル (北海道函館市)
- ◆ 第 50 回東北医学検査学会  
日 程：平成 21 年 10 月 31 日(土)～11 月 1 日(日)  
会 場：アトリオン (秋田県秋田市)
- ◆ 第 42 回中国四国医学検査学会  
日 程：平成 21 年 10 月 31 日(土)～11 月 1 日(日)  
会 場：サンポート高松 (香川県高松市)
- ◆ 第 48 回中部医学検査学会  
日 程：平成 21 年 11 月 7 日(土)～8 日(日)  
会 場：三島市民文化会館 (静岡県三島市)
- ◆ 第 49 回近畿医学検査学会  
日 程：平成 21 年 11 月 28 日(土)～29 日(日)  
会 場：京都市勧業館 みやこめっせ (京都府京都市)
- ◆ 第 46 回関東甲信地区医学検査学会  
日 程：平成 22 年 2 月 6 日(土)～7 日(日)  
会 場：幕張メッセ (千葉県千葉市)

## 医療安全推進週間 <照会先>

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室  
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2  
代表 03-5253-1111 (内線:2579) 直通 03-3595-2189  
FAX 03-3501-2048 e-mail: akimoto-masahiro@mhlw.go.jp

## 編集後記

- ◆ 早いもので季節は冬です。何もしなくても時間は関係なく進んでしまいます。日野原重明<聖路加国際病院理事長・名誉院長>先生が、「命の授業」で言っています。「命と時間は目にも見えないうし触ることもできないが、両方は一体のもの。君たちが持っている使える時間が君たちの命だ。」と……
- ◇ 人は 10 カ月の胎児期間を経て生まれ、人によっては 1 世紀も生きることができます。しかし、蟬はたったひと夏を生きるために、数年間を暗い土の中で過ごします。この違いは何でしょう。どちらが充実しているのでしょうか？
- ◆ 環境問題に関する世論調査で、人間の生活がある程度制約されても多種多様な生物の環境保全を考えるべきという考え方の割合が増えているようです。これは、年代で異なり、人間の豊かさや便利さを確保するためには多くの生物の環境が失われてもやむを得ないとの考え方は年代が高いほど強いそうです。

【編集室】